

(3) 観光の利便性の増進  
 共通乗車船券の発行促進  
 沖縄訪問客の移動の円滑化及びコストの軽減を図るため、平成15年度に実施した「観光客移動利便性向上対策調査」結果を活用し、バス、モノレール、定期船等に係る共通乗車船券の発行を促進する。

主要施策	内容	備考
共通乗車船券の発行促進	・バス、モノレール、定期船等に係る共通乗車船券の発行促進	・沖縄振興特別措置法第10条関係（共通乗車船券）

観光関連利便施設の整備  
 観光客の利便性の向上を図るため、県内の主要な観光地において、休憩施設、駐車場、取り付け道路等の施設整備を進める。

主要施策	内容	備考
観光関連利便施設の整備	・県内の主要な観光地における休憩施設、駐車場、取り付け道路等の施設整備	

利用者利便増進事業の促進  
 沖縄訪問客の観光地等へのアクセスの向上を図るため、観光地を結ぶバスの運行や定期船の運航の拡充を促進する。

主要施策	内容	備考
利用者利便増進事業の促進	・観光地を結ぶバスの運行や定期船の運航の拡充促進	・沖縄振興特別措置法第11条関係（利用者利便増進事業計画の認定）

(3) 観光の利便性の増進  
 共通乗車船券の発行促進  
 観光客の移動の円滑化及び費用負担面での軽減を図るため、バス、モノレール、定期船等に係る共通乗車船券の発行を促進する。

主要施策	内容	備考
共通乗車船券の発行促進	バス、モノレール、定期船等に係る共通乗車船券の発行促進	・沖縄振興特別措置法第10条関係（共通乗車船券）

利用者利便増進事業の促進  
 観光客の観光地間のアクセスの向上を図るため、観光地を結ぶバスの運行や定期船の運航の利便性の増進を促進する。

主要施策	内容	備考
利用者利便増進事業の促進	観光地を結ぶバスの運行や定期船の運航の利便性の増進を促進	・沖縄振興特別措置法第11条関係（利用者利便増進事業計画の認定）

事業終了

5 産業間の連携の強化

指 標	単位	平成13年	平成15年	平成19年	平成23年
		(基準)	(実績)	(目標)	(目標)
観光客一人当たり 県内消費額 (再掲)	千円	8.5	7.4	8.0	10.9
観 光 収 入 (名目値) (再掲)	億円	3,782	3,754	4,800	7,085

[指標の内容]

観光客一人当たり県内消費額：入域観光客が沖縄県内で支出した一人当たりの平均消費金額  
 観光収入（名目値）：入域観光客数×観光客一人当たり県内消費額

(1) 沖縄土産品の魅力向上

観光土産品のブランド化とマーケティングの強化

観光土産品の魅力向上とマーケティングの強化による関連産業の振興を図るため、平成16年度に構築された観光事業者（ホテル・テナント）及び製造業者のネットワークに技術・料理等の専門家を加え、観光土産品開発・販売のネットワークの拡充を図り、土産品購入者のニーズを捉えている観光事業者を起点とする新たな商品開発を促進する。また、観光事業者サイドにおける特産品開発とブランド化を推進する人材の育成を行う。

さらに、観光土産品に対する信頼性を確保するため、関係機関が連携して品質の向上や内容表示の適正化に取り組む。

5 産業間の連携の強化

指 標	単位	平成13年 (基準)	平成18年 (実績)	平成23年	
				目標	(変更前)
観光客一人当たり 県内消費額 (再掲)	千円	7.6	7.3	8.4	(10.9)
観光収入 (名目値) (再掲)	億円	3,390	4,104	6,048	(7,085)

[指標の内容]

観光客一人当たり県内消費額：入域観光客が沖縄県内で支出した一人当たりの平均消費金額  
 観光収入（名目値）：入域観光客数×観光客一人当たり県内消費額

[目標値の変更理由等]

観光客一人当たり県内消費額：推計手法の変更等に伴う修正

観光収入（名目値）：推計手法の変更等に伴う修正

(1) 観光土産品のブランド確立

観光土産品のブランド確立

沖縄観光土産品のブランドを確立するため、デザイン性の高い製品開発を支援するとともに、リゾートホテル等の新たな販路を確立するため、モデル商品の開発を行う。

また、沖縄型特定免税店と県内業者との連携による商品開発を促進し、県内業者の商品開発力を高めるとともに、リゾートウエディングと連動した、県産工芸品の引き出物商品の開発を促進する。

さらに、地域資源を活用した離島の特産品開発を支援するため、特産品加工施設の整備を促進する。

県産農林水産物の観光土産品としての販路を確立することにより、生産拡大を促進するため、ファーマーズマーケット等の直売所を利用した観光客への販売を強化する。

名称変更

名称変更

主要施策	内 容	備 考
観光土産品のブランド確立等	観光連携型特産品マーケティング事業 ・特産品開発・販売ネットワークの拡充 ・ブランドプロデューサーの育成 ・観光客モニター調査	
観光土産品の内容表示の適正化	・関係機関が連携して品質の向上や内容表示の適正化に取り組む	・適正表示方策の検討

主要施策	内 容	備 考
観光土産品の商品開発及びブランド確立等	観光客のニーズを踏まえた魅力ある観光土産品開発の支援 ・観光市場を含む県外市場を対象としたデザイン性の高い商品開発を支援 ・リゾートホテル等新たな流通経路への展開を図るためのモデル商品の開発等 沖縄型特定免税店と県内業者との連携による商品開発の促進 県産工芸品のリゾートウエディングの引き出物としての商品開発促進 離島地域の活性化に資する特産品加工施設整備などへの支援	
特産品及び県産農林水産物の活用	ファーマーズマーケット（直売所）等を活用し、観光客へ特産品や県産農林水産物を販売	

観光土産品の表示の適正化及び推奨  
観光土産品に対する信頼性を確保するため、関係機関が連携して品質の向上や表示の適正化に取り組むとともに、優良県産品推奨事業において、優良な観光土産品を推奨する。

観光土産品の表示の適正化及び推奨	関係機関が連携して品質の向上や表示の適正化に取り組む。  優良県産品推奨事業において優良な観光土産品を推奨する。	
------------------	--	--

(2) 県産食材の安定供給体制の強化  
県産食材の安定供給体制の強化  
我が国唯一の亜熱帯性気候等の優位性をいかした活力ある産地を形成し、健康

(2) 観光関連産業と農林水産業との連携による地産地消の推進  
県産農林水産物の活用の拡大と安定供給体制の強化

新規事業(H18～)

新規事業(H18～)

新規事業(H19～)

項目の追加

項目の分離  
名称変更

項目の追加

名称変更

長寿や観光・リゾート地にふさわしい高品質かつ安全で安心な農林水産物を安定的に供給することにより、おきなわブランドを確立する。

また、観光客の沖縄県産食材へのニーズに応えるため、県内のリゾートホテルやレストラン等に島野菜等の特色ある県産農林水産物等を安定的に供給するための体制整備を促進する。

さらに、沖縄県産健康保養食材を活用した新メニューの開発、レシピの作成、地域食材利用加工食品展示会の開催、ホテルやレストランへの食材の普及促進を図るとともに、県産農林水産物の普及促進に向けたイベントの開催やキャンペーンの展開等に努める。

健康長寿や観光・リゾート地にふさわしい高品質かつ安全で安心な県産農林水産物の生産体制と観光施設への供給体制を整えることにより、地産地消の拡大を図る。

県内ホテル等において県産農林水産物の消費拡大キャンペーンを実施するとともに、県産農林水産物を活用した料理を提供する飲食店・ホテル等の登録推奨制度の創設を検討する。

また、我が国唯一の亜熱帯性気候等の優位性をいかした活力ある産地を形成し、県産農林水産物等を安定的に供給するための体制整備を促進し、「おきなわブランド」の確立を図る。

主要施策	内 容	備 考
地産地消の推進	<p>県産農林水産物を観光施設等へ供給することによる地産地消の取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄独特の伝統野菜の生産・流通体制の構築</li> <li>・「おきなわ食材の店（仮称）」の登録推奨</li> <li>・県内のホテル等において、ゴーヤーの日、マンゴーの日などの消費拡大キャンペーンを実施する。</li> <li>・「おきなわ花と食のフェスティバル」の開催を通し、観光施設における県産農林水産物の活用拡大を図る。</li> <li>・沖縄県地産地消推進県民運動の実施</li> </ul>	

項目の整理

主要施策	内 容	備 考
おきなわブランドの確立	活力ある産地を形成し、高品質かつ安全で安心な農林水産物を安定的に供給することにより、おきなわブランドを確立	
県産農林水産物等の安定供給体制の整備促進	県内のリゾートホテルやレストラン等に特色ある県産農林水産物等を安定的に供給するための体制整備や普及を促進す	

県産農林水産物の安定供給体制の整備促進及びおきなわブランドの確立	活力ある産地を形成し、高品質かつ安全で安心な県産農林水産物を安定的に供給することにより、おきなわブランドを確立する。	
----------------------------------	--	--

項目の統合

<p>健康保養食材の活用 ・普及促進（再掲）</p>	<p>る。 「沖縄100の健康料理」の普及拡大 ・沖縄県産健康保養食材を活用したレシピ集「沖縄100の健康料理」を普及活用してホテルなどの観光施設でのメニューの定着化を図る。 引き続き島野菜の活用等による付加価値の高い新メニュー開発に努める</p>			<p>事業終了</p>									
<p>(3) 観光関連サービス業の育成と連携の強化 観光と健康関連サービス業の連携強化 健康保養型観光のニーズに対応した健康関連サービス業の民間における事業化を促進するとともに、観光と健康関連サービス業の連携強化に関する検討を行う。</p>			<p>(3) 観光との連携による関連産業の振興 健康関連産業等の振興 観光関連産業と健康ビジネス産業の連携により、本県の保養環境や県産食材等を活用した健康サービスプログラムの、健康に対するエビデンス（科学的根拠）を有効に利用する手法を確立することで、新たな付加価値の高い沖縄型健康増進ツアープログラムの創出を促進し、健康ビジネス産業の振興を図る。 また、琉球エステ・スパのブランド確立を促進し、新たな関連産業の振興を図る。</p>	<p>名称変更</p>									
<p>主要施策</p> <p>観光と健康関連サービス業の連携強化</p>	<p>内 容</p> <p>健康関連サービス業の民間における事業化を促進する。 観光と健康関連サービス業の連携強化に関する検討を行う。</p>	<p>備 考</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主要施策</th> <th>内 容</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光関連産業との連携による健康ビジネス産業の振興</td> <td>観光・美容・食品分野を中心としたデータの収集及び分析によるエビデンス有効利用に関する手法の確立 ・先進地事例調査、観光客ニーズ調査等の実施 ・沖縄型健康増進プログラムの新規提案及び実証 ・「沖縄健康ビジネス協議会（仮称）」の立ち上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>琉球エステ・スパのブランド確立への支援</td> <td>琉球エステ・スパのガイドラインの作成 技術者の育成 事業協同組合の設立</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主要施策	内 容	備 考	観光関連産業との連携による健康ビジネス産業の振興	観光・美容・食品分野を中心としたデータの収集及び分析によるエビデンス有効利用に関する手法の確立 ・先進地事例調査、観光客ニーズ調査等の実施 ・沖縄型健康増進プログラムの新規提案及び実証 ・「沖縄健康ビジネス協議会（仮称）」の立ち上げ		琉球エステ・スパのブランド確立への支援	琉球エステ・スパのガイドラインの作成 技術者の育成 事業協同組合の設立		<p>新規事業（H19～）</p> <p>項目追加</p>
主要施策	内 容	備 考											
観光関連産業との連携による健康ビジネス産業の振興	観光・美容・食品分野を中心としたデータの収集及び分析によるエビデンス有効利用に関する手法の確立 ・先進地事例調査、観光客ニーズ調査等の実施 ・沖縄型健康増進プログラムの新規提案及び実証 ・「沖縄健康ビジネス協議会（仮称）」の立ち上げ												
琉球エステ・スパのブランド確立への支援	琉球エステ・スパのガイドラインの作成 技術者の育成 事業協同組合の設立												

<p><u>エンターテインメント産業等の創出</u>  <u>海洋レジャー及びスポーツ活動やスポーツコンベンション等の拡大に対応した関連産業の創出や音楽、文化、芸能、ファッション等のエンターテインメント関連産業の創出を促進するとともに、産業間の連携を促進する。</u></p>	<p><u>観光関連業と音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携</u>  <u>観光関連業と音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携を促進し、観光客のニーズに対応した多様なメニューの充実を図る。</u></p>	<p>項目の整理 名称変更</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="219 499 471 583">主要施策</th> <th data-bbox="471 499 982 583">内 容</th> <th data-bbox="982 499 1326 583">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="219 583 471 806">エンターテインメント産業等の創出促進</td> <td data-bbox="471 583 982 806"> <u>海洋レジャー等関連産業の創出や音楽、文化、芸能、ファッション等のエンターテインメント関連産業の創出促進</u>  <u>産業間の連携促進</u> </td> <td data-bbox="982 583 1326 806"></td> </tr> </tbody> </table>	主要施策		内 容	備 考	エンターテインメント産業等の創出促進	<u>海洋レジャー等関連産業の創出や音楽、文化、芸能、ファッション等のエンターテインメント関連産業の創出促進</u> <u>産業間の連携促進</u>		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1368 457 1626 541">主要施策</th> <th data-bbox="1626 457 2139 541">内 容</th> <th data-bbox="2139 457 2484 541">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1368 541 1626 806">観光関連業と音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携</td> <td data-bbox="1626 541 2139 806"> <u>音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携の促進</u>  <u>観光客のニーズに対応した多様なメニューの充実</u> </td> <td data-bbox="2139 541 2484 806"></td> </tr> </tbody> </table>	主要施策	内 容	備 考	観光関連業と音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携	<u>音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携の促進</u> <u>観光客のニーズに対応した多様なメニューの充実</u>	
主要施策	内 容		備 考											
エンターテインメント産業等の創出促進	<u>海洋レジャー等関連産業の創出や音楽、文化、芸能、ファッション等のエンターテインメント関連産業の創出促進</u> <u>産業間の連携促進</u>													
主要施策	内 容	備 考												
観光関連業と音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携	<u>音楽、芸能、工芸、ファッション産業等との連携の促進</u> <u>観光客のニーズに対応した多様なメニューの充実</u>													

(旧) 第2次沖縄県観光振興計画 (H17～H19年度)	(新) 第3次沖縄県観光振興計画 (案) (H20～H23年度)	備考
<p><b>第5章 観光振興地域</b></p>	<p><b>第5章 観光まちづくりの推進</b></p> <p>本章においては、圏域ごとの観光まちづくりの基本方向を取りまとめるとともに、当該基本方向を踏まえ、圏域及び市町村等が展開する施策等について整理する。</p> <p>1 圏域ごとの観光まちづくりの基本方向</p> <p>(1) 北部圏域</p> <p>国頭3村においては、国立公園の指定も視野に入れて、豊かな自然や伝統文化等の地域資源を生かしたエコツーリズム、グリーンツーリズム、健康長寿をテーマとした体験・滞在型観光、農林水産業や地場産品の開発等によりまちづくりを推進する。</p> <p>本部半島から名護市、宜野座村にかけての地域は、周遊型観光や農林水産業の振興を図るとともに、離島地域とのアクセス機能の充実に努める。</p> <p>名護市から恩納村の西海岸地域にかけては、国際的な観光・リゾート拠点として、自然環境の保全と景観に配慮しながら一層の基盤整備を進める。</p> <p>また、名護市から宜野座村、金武町にかけての東海岸地域では、体験・滞在型観光の振興を図るとともに、西海岸地域との効果的な連携を図る。</p> <p>離島3村については、地理的な不利性を克服する観点から、交通アクセスの改善や生活環境の整備を推進するとともに、離島特有の自然環境や文化を生かした体験・滞在型観光や農林水産業の振興を中心にまちづくりを進める。</p> <p>(2) 中部圏域</p> <p>金武湾に面した東海岸地域では、研究開発、交流体験等を含め、健康長寿をテーマとした地域づくりを進める。</p>	

うるま市から沖縄市にかけての東海岸地域においては、中核的な都市として、高次の都市機能の整備を進めるとともに、中城湾港泡瀬地区では国際交流リゾート拠点等の形成を推進する。

宜野湾市から読谷村にかけての西海岸地域においては、コンベンション支援機能及び都市型リゾート施設等の整備を促進し、観光・リゾート産業の振興を図るとともに、沖縄西海岸道路等の整備により交通アクセスの利便性を高める。

北中城村から中城村、西原町にいたる地域においては、歴史・文化の体験や県民行楽の場としての整備を図るとともに、良好な住環境を充実強化する。また、陸上交通の円滑化を図るため、本島東西間を結ぶ道路等の整備を推進する。

### (3) 南部圏域

那覇市を中心とする都市地域においては、都市の利便性とアメニティに満ちたゆとりある生活空間を併せて享受できるように、都市機能の再編・再整備による地域づくりを推進する。

浦添市から那覇市に至る西海岸においては、空港、港湾等の整備により国際物流拠点の形成を図るとともに、その後背地と一体となった都市の整備を進める。

豊見城市から糸満市にかけては、臨空港型産業等の誘致・集積を図るとともに、園芸農作物の拠点産地の形成や水産業の振興によるまちづくりを進める。

与那原町から南城市にかけての東海岸地域においては、農林水産業の振興を図るとともに、健康・保養や歴史散策等を中心とした観光を推進する。

南風原町、八重瀬町、南城市のような都市近郊地域においては、都市近郊型農業等を振興するとともに、良好な住宅市街地の形成に向けた整備を進める。

離島地域においては、健康・保養や歴史・文化等をテーマとした体験・滞在型観光を推進するとともに、農林

水産業の拠点産地化を促進する。

#### (4) 宮古圏域

美しい自然環境を保全するとともに、農林水産業の振興はもとより、各種スポーツイベントの開催やキャンプ地としての利用の実績を生かし、スポーツや健康・保養をテーマとした体験・滞在型観光を中心に観光リゾート産業の振興を図る。

また、これら産業間の連携を図り、雇用機会を創出することにより、地域の活性化に努める。

#### (5) 八重山圏域

我が国の最南西端に位置する地理的条件と貴重な野生動植物を含む豊かで多様性に富んだ自然環境、歴史的・文化的特性を生かした観光・リゾート産業の振興を図る。

このため、各種伝統行事や文化財等の保存・保護を図りつつ、観光資源としての利活用に努めるとともに、新たな観光資源の開発を進める。

圏域及び国外との交流ネットワークを形成するとともに、島々の自然環境を保全しつつ、各種産業の振興による雇用の創出、生活環境の改善等の定住条件の整備による地域づくりを進める。

## 2 観光まちづくりの取り組みの推進

### (1) 北部圏域

北部広域市町村圏事務組合においては、「1ダースネット」というホームページを開設し、やんばるの観光情報を発信している。また、現在「沖縄県北部地方拠点都市地域基本計画」の見直しが行われており、その中で、「自然共生ゾーン」、「広域都市拠点ゾーン」及び「余暇・交流ゾーン」を設定し、それぞれの地域特性を踏まえた整備を推進していく。

国頭村及び東村においては、ツーリズム協会や観光推

進協議会等の民間団体、事業者を中心に美化清掃活動やフィールドの利用ルールづくりに向けた取り組み等が行われており、大宜味村においては、「長寿と癒しの村」として、大宜味村独自の体験滞在型観光の振興を図る。また、これら3村では国立公園の指定に向けた取り組みを推進していく。

本部半島においては、沖縄海岸国定公園の公園区域に編入された本部半島カルスト地域の公園整備を進めるとともに、海洋博記念公園及び周辺観光施設と連動した滞在型観光を目指す。また、今帰仁城跡及びその周辺や今帰仁歴史文化センターを核とした歴史・文化体験の場の形成を図る。

名護市については、北部圏域の中心都市として、都市機能の充実と高度化を図り、街の賑わいの場を創出する。

名護市から恩納村の西海岸地域にかけては、リゾートホテルや観光施設の集積とともに、大学院大学の設立に向けた準備も進んでいることから、国際的な観光・リゾート拠点としての一層の基盤整備を図る。

一方、東海岸地域は、エコツーリズムやタラソセラピー等による体験・滞在型の観光を推進するとともに、西海岸地域と有機的に連携した交流都市としての機能を持たせる。

伊江村においては、資源の保全・再生を図りつつ、農林水産業を核とした体験・滞在型観光の更なる推進とフラワーアイランドの形成に取り組む。また、伊平屋村及び伊是名村については、観光振興計画に基づき、古民家再生など島の個性を生かした観光を推進していく。

## (2) 中部圏域

中部圏域においては、中部9市町村が運営するポータルサイト「mai nichichubu」で、観光情報やイベント情報等を発信している。また、現在「沖縄県中部地方拠点都市地域基本計画」の見直しが行われており、その中で、「中核都市アメニティゾーン」、「金

武湾広域レクリエーションゾーン」、「中城湾ベイエリアゾーン」、「学園史跡ゾーン」、「西海岸コンベンションエリアゾーン」、「カルチャーコミュニティゾーン」を設定し、相互の機能分担及び個性化を図るとともに、密接な連携によって地域の一体性を高める。

金武湾をとりまくうるま市、宜野座村、金武町では、金武湾開発推進連絡協議会を設置しており、「健康・長寿・美」をテーマに、環金武湾振興QOLプロジェクトを進めていく。

うるま市においては、「うるま市観光振興ビジョン」に基づき、闘牛、エイサー、勝連城跡、海中道路の4資源を柱に、各種施策を展開する。また、沖縄市においては、ミュージックタウン基本構想に基づき、多様な音楽・芸能文化を活かしたエンターテイメントによるまちづくりを進めるとともに、各種イベントの充実強化やスポーツコンベンションの推進を図る。

宜野湾西海岸地域においては、リゾートホテル、健康保養型施設、複合レジャー施設等の集積を図るとともに、アフターコンベンション機能の充実に取り組む。また、北谷西海岸地域では、美浜アメリカンビレッジを活用した文化交流型観光の振興を図るとともに、現在推進しているフィッシャリーナ整備事業により、漁業とマリ産業の融合によるウォーターフロントの形成を目指す。

さらに、北中城村から中城村、西原町に至る地域については、中城城跡を中部地域におけるグスクネットワークの核として整備し、城跡周辺の伝統的集落の環境及び歴史の道の整備等を引き続き推進する。また、西原町及び与那原町においては、「マリンタウンまちづくり推進協議会」を設置しており、ウォーターフロントを体感する空間の創出に向け、マリンタウンプロジェクト（西原・与那原地区）を推進する。

### (3) 南部圏域

南部広域市町村圏組合では、「まるごと！なんぶ 沖

縄」というホームページを開設しており、南部圏域全体のまちづくり情報を発信している。また、同組合と沖縄大学の主催により養成されたガイド有志が、NPO沖縄なんぶガイドネットを立ち上げており、歴史遺産や戦跡など、南部地域全域のガイドとして活動している。さらに、行政と各種団体等との連携強化を図る目的で「なんぶ地域づくりネットワーク会議」が開催され、なんぶの地域づくりとネットワーク化に向けた取り組みが行われている。

また、南部地域の18の観光施設・事業者が連携して「沖縄県南部観光施設協力会」を組織しており、地域の観光振興に向けた取り組みが行われている。

県都那覇市においては、平成12～21年度を計画期間とする「那覇市コンベンション振興計画」に基づき、①多様な交流を支えるコンベンション機能の充実した国際交流コンベンション都市の形成、②北部や周辺離島と一体となった長期滞在型観光拠点都市の形成、③市民が愛着と誇りのもてる街づくりの展開と市民のホスピタリティの醸成などを目指し、各種施策が展開されている。

また、今年度策定予定の第四次総合計画において、「文化財や伝統芸能などの観光資源の活用・開拓、誘客イベントの実施、市民生活と調和がとれた観光都市としての安全で美しい環境づくりなど、関係機関と連携しながら取り組みをすすめ、入域観光客数の増加とともに滞在日数の増加もめざした観光の振興を図る」方針である。

また、豊見城市から糸満市にかけては、ショッピングセンターやリゾートホテル、健康・保養施設、レンタカーステーション等の観光関連施設の集積が進んでいる。

南城市においては、本年度に観光振興計画を策定する予定であり、「癒しと健康」をキーワードに、体験滞在型観光の振興に向けた検討を進めている。

一方、離島地域においては、久米島と渡名喜を結ぶ新たな観光メニューの開発が検討されている。また、座間味、渡嘉敷両村とダイビング事業者、観光事業者、漁協

等で構成する「慶良間自然環境保全会議」が発足しており、自主ルールに基づき、自然環境の保全を図りながら、ダイビングやシーカヤック、ホエールウォッチング等の活動が行われている。

#### (4) 宮古圏域

宮古島市においては、合併後の新たな総合計画を本年度に策定する予定であり、当該計画を踏まえ、今後観光振興基本計画を策定する。

今後の観光振興の方向として、農林水産業と連携したグリーンツーリズムやブルーツーリズムなど体験・滞在型観光の推進、トライアスロン等の各種イベントの開催及びスポーツ合宿の受け入れなどスポーツアイランドの形成の推進、エコアイランドの推進と観光との連携等が検討されている。

多良間村においては、現在ヤギの特産品化に取り組んでおり、宮古島市と連携を図りつつ、体験・滞在型観光の振興を図っていく。

#### (5) 八重山圏域

八重山圏域においては、3市町及び県、地域観光協会、観光関連業者が連携し、誘客宣伝活動、イベント事業、受入対策事業等を実施している。

石垣市においては、第3次総合計画後期基本計画（平成18～22年度）の中で、観光産業を石垣市経済を支える総合的な産業と位置付けており、民間活力による観光・リゾート施設の整備を促進するとともに、自然環境と調和したトータルアメニティの向上に努める。また、文化遺産、豊かな自然、地域の営み等を観光資源として幅広くとらえ、文化交流の機会としても活用し持続可能な地域おこしを促進する。

これらの方針を踏まえ、石垣市においては、観光基本計画を本年度に策定する予定であり、観光開発と環境及び景観の保全バランスを考慮し、持続可能な観光の構築

に取り組むことを検討している。

竹富町においては、平成19～23年度を計画期間とする観光振興基本計画を策定しており、その中で、①「発地型」から「着地型」、「通過型」から「滞在型」への観光形態の転換、②農林産業及び食品加工業と観光産業との連携による地域産業の活性化、③観光資源の保護・保全・活用のための基本ルールづくり、④観光インフラ整備の促進、⑤観光振興のための組織・体制づくり、等を進めていく。

また、与那国町においては、与那国空港の本格的なジェット機対応の共用開始に伴い、観光客の積極的な誘致とともに、体験・滞在型観光の可能性を検討していく。

(旧) 第2次沖縄県観光振興計画 (H17～H19年度)	(新) 第3次沖縄県観光振興計画(案)(H20～H23年度)	備考
<p>1 観光振興地域指定の基本的考え方  沖繩振興特別措置法に基づき、優れた自然の風景地、文化財等の観光資源を数多く有するとともに、スポーツ・レクリエーション施設、教養文化施設、休養施設、販売施設等観光関連施設の整備を特に促進し、本県の観光拠点となりうる地域について、市町村及び関係機関と連携しつつ、観光振興地域の指定に向けた取り組みを積極的に推進する。</p> <p>なお、観光振興地域における観光関連施設の整備に当たっては、関係法令及び諸計画との整合を図るものとする。</p> <p>2 観光振興地域の区域  沖繩振興特別措置法第6条第3項第1号に基づく観光振興地域として次の区域を指定する。<u>(海浜地の地先と表現しているものについては、埋立完了後、所在の登記があった場合、登記後の所在に読み替えるものとする。)</u></p> <p>海洋博公園地域  ・ 本部町字備瀬、石川、山川、浜元  カヌチャ地域  ・ 名護市字汀間、三原、安部、嘉陽  ブセナ地域  ・ 名護市字喜瀬、幸喜  北谷西海岸地域  ・ 北谷町北谷1丁目、2丁目、美浜1丁目、2丁目、<u>字美浜並びに字美浜11番、12番、13番及び美浜3丁目20番に接する海浜地の地先</u>  前川地域</p>	<p><b>第6章 観光振興地域</b></p> <p>1 観光振興地域指定の基本的考え方  <u>観光まちづくりの基本方向をふまえ、優れた自然の風景地、文化財等の観光資源を数多く有するとともに、スポーツ・レクリエーション施設、教養文化施設、休養施設、販売施設等観光関連施設の整備を特に促進し、本県の観光拠点となりうる地域を観光振興地域として指定し、市町村及び関係機関と連携しつつ、拠点地域としての一層の発展を図る。</u></p> <p>なお、観光振興地域における観光関連施設の整備に当たっては、関係法令及び諸計画との整合を図るものとする。</p> <p>2 観光振興地域の区域  沖繩振興特別措置法第6条第3項第1号に基づく観光振興地域として次の区域を指定する。</p> <p>海洋博公園地域  ・ 本部町字備瀬、石川、山川、浜元  カヌチャ地域  ・ 名護市字汀間、三原、安部、嘉陽  ブセナ地域  ・ 名護市字喜瀬、幸喜  北谷西海岸地域  ・ 北谷町北谷1丁目、2丁目、美浜1丁目、2丁目、<u>字美浜</u>  前川地域</p>	<p>観光まちづくりと観光振興地域の関連に関する表現の追加等</p> <p><u>今回の指定地域では、「海浜地の地先」と表現すべきものに該当が無い。</u></p> <p>フィッシャリーナ地域の埋立完了とその所在の登記。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉城村字前川 トゥリバー地域</li> <li>・ 平良市久貝458-3番地、550-2番地、643-2番地及び643-3番地に接する海浜地の地先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南城市玉城字前川 トゥリバー地域</li> <li>・ 宮古島市平良字久貝550-3番地、550-4番地、550-5番地、550-6番地、550-7番地、550-8番地、550-9番地、550-10番地、550-11番地、550-12番地、550-13番地、550-14番地、550-15番地、550-16番地</li> </ul>	<p>市町村合併に伴う名称変更。</p> <p>市町村合併に伴う名称変更及び埋立後の所在の登記。</p>
<p>宮古島南岸・東平安名リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上野村字宮国、新里、城辺町字砂川、友利、保良、新城、比嘉、福里、長間 川平地域</li> </ul>	<p>宮古島南岸・東平安名リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮古島市上野字宮国、新里、城辺字砂川、友利、保良、新城、比嘉、福里、長間</li> </ul>	<p>市町村合併に伴う名称変更。</p> <p>第3次計画期間では指定しない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石垣市字川平 宜野湾西海岸地域</li> <li>・ 宜野湾市大山7丁目、真志喜3丁目、4丁目、字宇地泊並びに大山7丁目680番3、680番4、680番7、2770番1、2770番5、真志喜4丁目807番、805番1及び805番2に接する海浜地の地先</li> </ul>	<p>宜野湾西海岸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宜野湾市大山7丁目、真志喜3丁目、4丁目、字宇地泊</li> </ul>	<p>埋立後の所在の登記。</p>
<p>那覇中心市街地・新都心地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 那覇市おもろまち1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、旭町、字壺川、壺川1丁目、2丁目、3丁目、泉崎1丁目、2丁目、久茂地1丁目、2丁目、3丁目、字楚辺、楚辺1丁目、2丁目、壺屋1丁目、樋川1丁目、2丁目、前島1丁目、2丁目、牧志1丁目、2丁目、3丁目、松尾1丁目、2丁目、泊1丁目、2丁目、字安里、安里1丁目、2丁目、字大道読谷ニライ・カナイリゾート地域</li> <li>・ 読谷村字宇座、渡慶次、儀間、高志保、瀬名波 宜野座サンライズリゾート地域</li> <li>・ 宜野座村字松田、宜野座、惣慶、漢那 久米島イープリゾート地域</li> <li>・ 久米島町字真我里、比嘉、謝名堂、銭田、奥武、</li> </ul>	<p>那覇中心市街地・新都心地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 那覇市おもろまち1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、旭町、字壺川、壺川1丁目、2丁目、3丁目、泉崎1丁目、2丁目、久茂地1丁目、2丁目、3丁目、字楚辺、楚辺1丁目、2丁目、壺屋1丁目、樋川1丁目、2丁目、前島1丁目、2丁目、牧志1丁目、2丁目、3丁目、松尾1丁目、2丁目、泊1丁目、2丁目、字安里、安里1丁目、2丁目、字大道読谷ニライ・カナイリゾート地域</li> <li>・ 読谷村字宇座、渡慶次、儀間、高志保、瀬名波 宜野座サンライズリゾート地域</li> <li>・ 宜野座村字松田、宜野座、惣慶、漢那 久米島イープリゾート地域</li> <li>・ 久米島町字真我里、比嘉、謝名堂、銭田、奥武、</li> </ul>	

<p>島尻、山城、真謝、宇根 恩納海岸リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>恩納村字名嘉真、安富祖、瀬良垣、恩納、谷茶、富着、前兼久、仲泊、山田、真栄田</li> </ul> <p>金武湾海洋性リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うるま市与那城屋慶名、平安座、平宮、桃原、上原、宮城、池味、伊計</li> </ul> <p>エアウェイリゾート豊見城地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊見城市字豊崎、与根、瀬長</li> </ul> <p>平久保・野底地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石垣市字平久保、伊原間、野底</li> </ul> <p>伊是名島・尚円王夢航海リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊是名村字伊是名、仲田、諸見、内花、勢理客</li> </ul>	<p>島尻、山城、真謝、宇根 恩納海岸リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>恩納村字名嘉真、安富祖、瀬良垣、恩納、谷茶、富着、前兼久、仲泊、山田、真栄田</li> </ul> <p>金武湾海洋性リゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うるま市与那城屋慶名、中央、屋平、平安座、平宮、桃原、上原、宮城、池味、伊計、勝連浜、比嘉</li> </ul> <p>エアウェイリゾート豊見城地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊見城市字豊崎、与根、瀬長</li> </ul> <p>平久保・野底地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石垣市字平久保、伊原間、野底</li> </ul> <p>マリンタウンリゾート地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西原町字東崎、与那原町字東浜</li> </ul>	<p>表記が欠落していた字名の追加。 拡充指定（浜比嘉島区域）。</p> <p>今回は指定しない。</p> <p>新規指定。</p>
<p>3 観光振興地域整備の基本方向 海洋博公園地域</p> <p>当該地域は国営沖縄記念公園海洋博覧会地区、<u>マリンピアザオキナワ（本部町）等の「海」をテーマとした施設が既に集積している。</u></p> <p>今後、宿泊施設及び海浜スポーツ・レクリエーション施設等の魅力ある観光関連施設の<u>一層の整備集積</u>を図り、これらを連携させながら、観光・リゾート地域としての魅力を高め、滞在型の海洋性レクリエーション拠点として整備していく。</p> <p>カヌチャ地域</p> <p>当該地域は豊かな自然環境を有するとともに、<u>周辺には現代の沖縄で失われつつある伝統的集落が形成されている。</u></p> <p>今後、<u>既存のホテル等を含め、海洋療法施設や集会施</u></p>	<p>3 観光振興地域整備の基本方向 海洋博公園地域</p> <p>当該地域は国営沖縄記念公園海洋博覧会地区、<u>マリンレジャー機能を備えた宿泊施設等、「海」をテーマとした施設が既に集積している。</u></p> <p>今後、宿泊施設及び海浜スポーツ・レクリエーション施設等の魅力ある観光関連施設の<u>集積促進</u>を図り、これらを連携させながら、観光・リゾート地域としての魅力を高め、滞在型の海洋性レクリエーション拠点として整備していく。</p> <p>カヌチャ地域</p> <p>当該地域は、<u>豊かな自然や現代の沖縄で失われつつある伝統的集落といった観光資源に囲まれ、既に、リゾートホテルやスポーツ・レクリエーション施設等の観光関連施設が立地している。</u></p> <p>今後、<u>周辺の豊かな観光資源との調和を図りながら、</u></p>	<p>固有名詞からの施設種目への表現変更等。</p> <p>施設立地状況、今後の施設整備見込みを踏まえた表現の修正。</p>

設等の多種多様な観光関連施設を周辺の豊かな観光資源との調和を図りながら、本島東海岸における長期滞在・健康保養型リゾート拠点として整備していく。

#### ブセナ地域

当該地域は沖縄海岸国定公園の中であって、当該地域を含む本島西海岸一帯は沖縄の代表的な海岸景観を有し、この美しい白い砂浜等をいかして、既にリゾートホテル、国際会議場（万国津梁館）等多くの観光関連施設が立地している。

今後、周辺一帯の優れた観光資源を有機的に連携させ、県内におけるリゾート開発のパイロット事業として、宿泊施設等観光関連施設の集積促進を図るなど、格調高い滞在型国際メガリゾートの形成に向けた取り組みを推進する。

#### 北谷西海岸地域

当該地域における北谷区域には、ショッピングセンター（ハンビ・タウン）を核とする駐車場を完備した中・大型店舗や個性的な店舗が既に相当程度立地し、また、美浜区域については産業活性化プロジェクトである「美浜タウンリゾートアメリカンビレッジ計画」の進展に伴い映画館、ショッピング施設、アミュ・ズメント施設等が既に整備され、平成16年にはホテルの完成も見ている。

今後、隣接する公園の各種スポーツ施設、人工ビーチ等のスポーツ・レクリエーション施設と連携させながら、賑いのある都市型の観光商業拠点として整備していく。

#### 前川地域

当該地域は鍾乳洞の開発整備拡充と合わせて、熱帯果樹園、観葉植物園、ショッピングモール、琉球ガラス工房、陶器工房、工芸村、黒糖工場、ハブ公園等、各施設

海洋療法施設や集会施設等の多様な観光関連施設の集積促進を図り、本島東海岸における長期滞在・健康保養型リゾート拠点として整備していく。

#### ブセナ地域

当該地域は、本島西海岸の沖縄海岸国定公園の中であり、沖縄の代表的な海岸景観等を活かして、既にゴルフ場、リゾートホテル、国際会議場（万国津梁館）等多くの観光関連施設が立地している。

今後、周辺一帯の優れた観光資源を有機的に連携させ、リゾートホテル等の観光関連施設の集積促進を図るなど、格調高い滞在型国際メガリゾートの形成に向けた取り組みを推進する。

#### 北谷西海岸地域

当該地域には、北谷公園内の各種スポーツ施設やビーチ等のスポーツ・レクリエーション施設、地域活性化プロジェクトである「美浜タウンリゾートアメリカンビレッジ計画」の進展に伴い映画館、ボーリング場といったアミュ・ズメント施設、ショッピング施設、リゾートホテル等が既に整備されている。

今後、フィッシャリーナ整備地域における宿泊施設、商業・エンターテイメント施設、水産業と連携した文化紹介体験施設等の多種多様な観光関連施設の集積促進を図り、賑いのある都市型の観光商業拠点として整備していく。

#### 前川地域

当該地域は、世界遺産に登録されている斎場御嶽、その他の城跡等の豊かな歴史資源に囲まれ、観光鍾乳洞、熱帯果樹園、伝統芸能や伝統工芸等の沖縄文化を体験で

施設立地状況、今後の施設整備見込みを踏まえた表現の修正。

施設立地状況、今後の施設整備見込みを踏まえた表現の修正。

観光資源、施設立地状況を踏まえた表現の修正。

の強化拡充を図っている。

今後、南部戦跡と一体となった沖縄の歴史・文化を感じることが出来る観光拠点として整備していく。

#### トゥリバー地域

当該地域周辺には県内有数のダイビングスポットが多数ある等、豊富な観光資源が存在する。

今後、マリーナの観光活用と併せたダイビングビレッジ、水路護岸を活用したウォーターパークなどのレジャー施設及び宿泊施設等、観光関連施設の集積促進を図るなど、宮古圏域を代表する海洋性レクリエーション基地及び観光・スポーツコンベンション拠点として整備していく。

#### 宮古島南岸・東平安名リゾート地域

当該地域はリゾートホテル等観光関連施設が集積するうえのドイツ文化村を中心とした宮古島南部地区と日本の都市公園百選に選定された東平安名崎公園を中心とした東部地区から形成されており、海に面した海洋レクリエーションが盛んな地域である。

今後、宿泊施設を中心に整備がすすめられる大型プロジェクト「シガラビーチリゾート」計画を始め、総合保養施設、観光農園等の整備が見込まれており、既存観光関連施設との有機的な連携を図りながら、有利な自然環境を生かした総合的な滞在型観光・リゾート拠点として整備していく。

#### 川平地域

当該地域は川平湾や底地ビーチ等、優れた自然環境を有し、最も観光客が足を運ぶ石垣島を代表する観光スポットである。

今後、自然環境の保全を基本とし景観に配慮したリゾートホテル、タラソテラピー施設等多種多様な観光関連

する施設等が既に立地している。

今後、博物館や休養施設等の整備促進を図り、沖縄の歴史・文化を感じることが出来る観光拠点として整備していく。

#### トゥリバー地域

当該地域は、その周辺にビーチやダイビングスポット等の豊富な海洋観光資源が存在するとともに、現在、マリーナ、人工ビーチ等のマリンレジャー施設の整備が行われている。

今後、スポーツ・レクリエーション施設、宿泊施設等の観光関連施設の集積促進を図るなど、宮古圏域を代表する海洋性観光・リゾート拠点として整備していく。

#### 宮古島南岸・東平安名リゾート地域

当該地域は国指定名勝の東平安名崎や吉野海岸に代表される変化に富む海岸線や発達したサンゴ礁等の豊かな自然環境を有しており、うえのドイツ文化村、ゴルフ場、リゾートホテル等の観光関連施設が既に集積している。

今後、スポーツ・レクリエーション施設、休養施設、リゾートホテル等の整備が見込まれており、既存観光関連施設との有機的な連携を図りながら、有利な自然環境を生かした総合的な滞在型観光・リゾート拠点として整備していく。

観光資源、施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

観光資源、施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

第3次計画期間では指定しない。

施設の整備を促進し、宿泊機能等の一層の強化拡充を図り、海洋性滞在型リゾート拠点として整備していく。

― 宜野湾西海岸地域

当該地域は沖縄コンベンションセンターを中心にマリーナ、人工ビーチ、海浜公園、リゾートホテル等多くの観光関連施設が既に立地している。

今後、宿泊施設及びショッピング施設、マリンレジャー施設等のアフターコンベンション施設の充実を図り、隣接する各種スポーツ施設等と連携させながら、賑わいのある都市型リゾート・コンベンション拠点として整備していく。

― 那覇中心市街地・新都心地域

当該地域は、県都那覇市の中心に位置し、国際通りを核として観光客が最も多く訪れる地域である。

今後、中心市街地地区は、市街地再開発事業の大型プロジェクト、ホテル、販売施設等の整備が見込まれており、賑わいと交流の場としたアーバンリゾート拠点として整備していく。

また、新都心地区については、那覇空港、那覇港、首里城公園、国際通り、壺屋やちむん通り等那覇市内の主要な観光施設・スポットと連結する位置にあることから、コンベンション機能、アミューズメント機能、生活文化情報の発信と賑わい及び交流の拠点として整備していく。

― 読谷ニライ・カナイリゾート地域

当該地域は読谷村の北西海岸に位置し、東シナ海の美しい海岸線、豊かな自然環境・珊瑚礁、沖縄百景の残波岬を有し、リゾートホテル、ゴルフ場、総合公園（レクリエーション施設）、むら咲むら（テーマパーク）が既に立地している。

― 宜野湾西海岸地域

当該地域は沖縄コンベンションセンターを中心にマリーナ、人工ビーチ、海浜公園、リゾートホテル等多くの観光関連施設が既に立地している。

今後、リゾートホテル、スポーツ・レクリエーション施設、マリンレジャー施設等のアフターコンベンション施設の充実を図り、隣接する各種スポーツ施設等と連携させながら、賑わいのある都市型リゾート・コンベンション拠点として整備していく。

― 那覇中心市街地・新都心地域

当該地域は、県都那覇市の中心に位置し、国際通りを核として観光客が最も多く訪れる地域である。

今後、中心市街地地区は、市街地再開発事業の大型プロジェクト、ホテル、販売施設等の整備が見込まれており、賑わいと交流の場としたアーバンリゾート拠点として整備していく。

また、新都心地区については、沖縄型特定免税店や沖縄県立博物館・美術館といった中核的施設に加え、既存の宿泊施設、ショッピング施設と連携しながら、販売施設等の観光関連施設の整備を図り、リゾートショッピング機能と文化情報発信機能を有した都市型観光・交流拠点として整備していく。

― 読谷ニライ・カナイリゾート地域

当該地域は読谷村の北西海岸に位置し、残波岬に代表される東シナ海の美しい海岸線、豊かな自然環境・サンゴ礁を有し、リゾートホテル、ゴルフ場、残波岬総合公園（スポーツ・レクリエーション施設）、文化紹介体験施設等が既に立地している。

施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正、固有名詞の施設種目への表現変更等。

今後、宿泊施設や総合保養施設等の整備を図るなど総合的な観光・リゾート拠点として整備をしていく。

― 宜野座サンライズリゾート地域

当該地域は、特色ある海岸線並びに田園的な風景等の自然環境を有し、また新おきなわ観光名所100選の一つである漢那ダムや海洋療法施設、国際交流村、博物館、総合グラウンド等が整備されている。

今後、ホテル、屋内運動場等の整備を進めながら、地域特性である陸・海域の良好な景観並びに冬場の穏やかな気象条件をいかした、豊かな自然環境との調和等、ニーズに対応した長期滞在・健康保養型リゾート拠点として整備していく。

― 久米島イーフリゾート地域

当該地域は多種多様な観光資源を有しており、その中心となるイーフビーチ周辺には宿泊施設、飲食店、特産品販売店、健康増進型温浴施設等、観光関連施設が既に集積している。

今後、海洋深層水を利用した健康増進型温浴施設を中心施設とし「心・体 健・美」を基本コンセプトとする「イーフ観光リゾート整備実施計画」に基づき、既存資源や新たに設ける施設など、各種関連資源・施設相互の機能連携を強化しつつ、地域固有の気候・自然並びに風土・文化の尊重あるいは保全・継承を前提とした観光活動等の多様化や通年・長期滞在型観光の拡充に努め、島内観光・リゾートの中核機能拠点を整備していく。

― 恩納海岸リゾート地域

当該地域は30kmに及ぶ風光明媚な海岸線を有し、リゾートホテル、海水浴場、博物館、農水産物販売センター、スポーツ・レクリエーション施設等の観光関連施設

今後、宿泊施設や地域産業と連携した文化紹介体験施設等の観光関連施設の整備を図るなど総合的な観光・リゾート拠点として整備していく。

― 宜野座サンライズリゾート地域

当該地域は、特色ある海岸線並びに田園的な風景等の自然環境を有し、ゴルフ場、海洋療法施設、屋内運動場、博物館等が整備されている。

今後、地域特性である陸・海域の良好な景観並びに冬場の穏やかな気象条件を活かして、リゾートホテル、スポーツ・レクリエーション施設等の観光関連施設の集積促進を図り、長期滞在・健康保養型リゾート拠点として整備していく。

― 久米島イーフリゾート地域

当該地域は久米島県立自然公園にあり、イーフビーチ、奥武島の畳石、トグジム自然公園などの陸・海域の多様な自然観光資源を有しており、海洋療法施設、リゾートホテル、遊漁船等利用施設、文化紹介体験施設等の観光関連施設が既に集積している。

今後、既存施設相互の連携強化による一層の活用と併せて、地域特有の自然環境・景観の保全に配慮しながらゴルフ場、宿泊施設等の多様な観光関連施設の整備促進を図り、通年・滞在型の観光・リゾート拠点として整備していく。

― 恩納海岸リゾート地域

当該地域は沖縄海岸国定公園の中にあり、30kmに及ぶ風光明媚な海岸線を有し、リゾートホテル、ゴルフ場、マリンレジャー施設、農水産物販売センター等の観光関

施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

観光資源、施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

が既に立地しており、海浜リゾートの中核的地域である。  
今後、ホテル、体験学習施設等の整備が見込まれており、既に確立されている海浜リゾートと合わせ、長寿社会に対応する高齢者の保養目的にも配慮した多様性のある観光・リゾート拠点として整備していく。

— 金武湾海洋性リゾート地域

当該地域は、平安座島の広大な干潟、ビーチを有し、広域幹線道路の「海中道路」を拠点として、海の駅あやはし館、与那城町総合公園、リゾートホテル等観光関連施設が立地している。

今後、整備中である与那城町総合公園とあわせ、広域的な構想である「環金武湾構想」を核とし、宿泊施設、レジャー施設、その他付属施設及びリゾート地として敷地島周辺整備の推進を図るなど、「健康」「長寿」をキーワードとした、ヒーリングリゾート拠点として整備していく。

— エアウェイリゾート豊見城地域

当該地域は、本県の出入り口である那覇空港に隣接し、アウトレットモール、ゴルフ場、スポーツ・レクリエーション施設等の観光関連施設が既に立地しており、与根南漁港では遊漁船を利用したマリンレジャーが盛んである。

今後、豊崎総合公園内に人工ビーチ、オートキャンプ場、多目的屋外レクリエーション広場、スポーツ施設等並びに既存の2つのゴルフ場の再開発、観光情報施設の整備計画が進められており、臨空型の海洋レクリエーションとショッピングゾーン等を兼ねそろえた多機能型、

連施設が既に立地しており、本島における海浜リゾートの中核的地域である。

今後、リゾートホテル、スポーツ・レクリエーション施設、文化紹介体験施設等の整備が見込まれており、既に確立されている海浜リゾートと合わせ、多様性のある観光・リゾート拠点として、自然環境の保全と景観に配慮しながら整備していく。

— 金武湾海洋性リゾート地域

当該地域は、沖縄本島東海岸の金武湾に面し、勝連半島及びこれと海中道路で結ばれている平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島の島々からなり、既に海の駅、与那城総合公園、リゾートホテル、観光製塩工場等の観光関連施設が立地している。

今後、教養文化施設、休養施設、リゾートホテル等の観光関連施設の集積促進を図り、「健康」「長寿」をキーワードとした、ヒーリングリゾート拠点として整備していく。

— エアウェイリゾート豊見城地域

当該地域は、本県の玄関口である那覇空港に隣接し、アウトレットモール、スポーツ・レクリエーション施設等の観光関連施設が既に立地しており、レンタカーステーションが併設された道の駅の整備が進められている。また、与根漁港では遊漁船を利用したマリンレジャーが盛んである。

今後、リゾートホテル、休養施設、コンベンション施設、文化紹介体験施設等の多様な観光関連施設の整備促進を図り、海洋レクリエーション機能、健康・保養機能、ショッピング機能等を兼ね備えた臨空型の観光・リゾート拠点として整備していく。

施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正。

施設立地状況、施設立地見込みを踏まえた表現の修正等。

<p>観光・リゾート拠点として整備していく。</p> <p>— 平久保・野底地域 当該地域は、美しい海岸線、久宇良岳、安良岳の2つの山を有し、山並みと海との景観が美しく、平久保崎や伊原間サビチ洞等の自然の観光資源が多い地域である。 今後、リゾートホテル、ゴルフ場等の整備が見込まれているが、<u>自然環境の保全を基本とし景観に配慮した施設整備を促進するとともに、地域産業等と密着した長期滞在・健康保養型リゾート拠点として整備していく。</u></p> <p>— 伊是名島・尚円王夢航海リゾート地域 当該地域は、琉球王朝第二尚氏の始祖、尚円王ゆかりの里として知られており、<u>伊是名ビーチ、二見ヶ浦海岸等優れた自然や、歴史的文化財、名所旧跡を有する地域である。</u> 今後、<u>伊是名城跡周辺整備として、元島集落、番所跡、シラサギ展望台等の整備が予定されており、既存の観光資源と連携させながら、島の歴史・文化及び自然を楽しむことが出来る観光拠点として整備していく。</u></p>	<p>— 平久保・野底地域 当該地域は、美しい海岸線、久宇良岳、安良岳の2つの山を有し、山並みと海との景観が美しく、平久保崎や伊原間サビチ洞等の自然の観光資源が多い地域である。 今後、<u>リゾートホテル、ゴルフ場、文化紹介体験施設等の整備が見込まれており、自然環境と景観の保全に配慮しながら施設整備を促進し、地域産業等と密着した長期滞在・健康保養型リゾート拠点として整備していく。</u></p> <p>— マリントウンリゾート地域 当該地域は、<u>沖縄本島中南部の東海岸に位置し、古くから天然の良港として利用されてきた中城湾に面しており、既に、スポーツ・レクリエーション施設等の観光関連施設が立地している。</u> 今後、<u>道路整備等により那覇空港方面からのアクセス性を向上させるとともに、マリーナ、リゾートホテル、ショッピング施設などの集積促進を図り、海洋レクリエーション機能やショッピング機能等を備えた観光・リゾート拠点として整備していく。</u></p>	<p>施設立地見込みを踏まえた表現の修正等。</p> <p>今回は指定しない。</p> <p>新規指定。</p>
--	---	--